

インフラ整備70年 講演会（第69回）

～戦後の代表的な100プロジェクト～

阪急梅田駅移転

～時代を見据えた戦略と決断が導いた大阪梅田の発展～

<講演プログラム>

1. 大阪梅田駅の変遷と工事記録映像
2. 移転計画の背景と戦略
3. 移転工事の概要と挑戦
4. 小林一三が梅田にかけた想い
～技師・鈴木祥六郎氏の功績より～
5. 「梅田ビジョン」と大阪梅田のこれから
6. 次代をつくる若手への期待とメッセージ

<講演者>

上村 正美 北大阪急行電鉄(株) 取締役会長
阪急電鉄(株) 顧問
前 博幹 元(株)竹中工務店 大阪本店 副本店長
鈴木 伸治 横浜市立大学 教授
高岸 実良 阪急電鉄(株) 取締役

写真提供:阪急電鉄(株)

2026年 7月1日 (水)

講演会:16:00～18:00 意見交換会:18:00～19:30

場所:阪急電鉄本社 エコルテホール (会場・WEBのハイブリット形式)

定員:会場 120名 WEB 1000名

阪急梅田駅、現在の大阪梅田駅は、長きにわたり大阪の都市発展の中核を担い、その歴史とイノベーションを通じて地域社会や経済に影響を与えてきた。阪急電鉄の創業者・小林一三が描いた梅田駅の構想は、単なる鉄道輸送の拠点にとどまらず、沿線開発や都市計画と連動し、地域の発展を牽引してきた。

高度経済成長期には利用者の急増により駅機能が逼迫し、抜本的対策として駅の移転・拡張という大きな決断に踏み切ったが、この移転は総合開発事業として推進され、人の流れや利便性を重視した計画のもと、技術者たちの挑戦が積み重ねられた。

完成した新しい梅田駅は、交通拠点にとどまらず、人々の生活に根差した大衆性と文化を備えた都市空間へと発展し、さらにこの思想は「梅田ビジョン」に継承され、国際都市にふさわしい魅力と機能を備えたまちづくりへと繋がっていく。

本講演では、これらの歩みを踏まえ、駅と都市の相互作用による発展の過程を整理するとともに、その先に広がる大阪梅田の将来像を展望する。

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会

後援: (公社) 土木学会

インフラ整備70年講演会(第69回)

阪急梅田駅移転

～時代を見据えた戦略と決断が導いた大阪梅田の発展～

《講演者略歴》

上村 正美 北大阪急行電鉄(株) 取締役会長・阪急電鉄(株) 顧問
前 博幹 元(株)竹中工務店 大阪本店 副本店長
鈴木 伸治 横浜市立大学 教授
高岸 実良 阪急電鉄(株) 取締役

講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 講演会 (会場・WEBともに無料)、意見交換会 (有料:3,000円) どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP (<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報[※]はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いします。

<意見交換会参加について>

- 申込完了者は、**6/24(水)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。

三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944

イッパ ンシャダ ンホウジ ンケンセツコンサルタントツキョウカイコウシュウカイヨウチ

(複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の間合わせ先メールにご連絡をお願いします)

<WEB配信について>

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)

問合せ先 E-mail: infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとししました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第70回講演会 2026年7月28日(火) 会場;建設コンサルタンツ協会会議室

テーマ: 横浜港・開港から未来へ ～経済成長を支え日本の港湾をリードする港～

講演者: 梅山 和成 元中部地方整備局長
金近 忠彦 元(公財)帆船日本丸記念財団 会長
秋山 優樹 東亜建設工業株式会社 社友(元会長)
中野 裕也 横浜交通開発株式会社 代表取締役社長
岸本 治 国土交通省関東地方整備局 港湾空港部計画企画官

* 会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です